

— 広告 —

KIT  
キャンパス  
レポート  
文・出島二郎  
マーケティングプランナー



古澤 佳樹 (ふるさわ よしき)  
金沢工業大学大学院工学研究科  
高信頼ものづくり専攻  
博士前期課程修了  
山梨県立日川高等学校出身

## グループ活動に鍛えられて 各種の学会発表に参加しました。

古澤さんは伝統校の部活に熱中し、一年間の浪人生活を送った。そして、予備校で初めて金沢工大のことを知ったのである。国公立から私大への進路変更となったが、セイコーエプソンに就職が内定し、文字通り明るい春を待つ取材となった。扇が丘キャンパスに積雪が残っている二月のことである。

「調べてみると外部の評価も高

く、自分の頑張り次第で充実した学生生活になるなあと。全国から学生が来ていて、いろんな友人ができました。とくに斉藤研究室で出会った院生の先輩から大きな刺激を受け、一年で研究を終わらせたいのもったいないなど。大学院は機械工学専攻で受けたんですけど、ほとくの入る年からFRP関連は高信頼ものづくり専攻に移行し

たので、その一期生になります。」

指導される斉藤博嗣准教授の専門は、複合材料工学・材料力学・計算力学。古澤さんの研究テーマは「CFRP積層板のモードIおよびモードII静的層間破壊じん性におよぼす繊維配向角の影響の実験的および解析的評価」である。

「斉藤先生は学生との距離が近いというのが一番。若いから、ちよつと上の先輩くらの感覚で話せるんです。私的なこともね。CFRPは炭素繊維強化プラスチックで、航空機や自動車や風力発電所のブレードなどの一次構造部材として使われています。研究は、外見で判断することの困難な内部損傷が生じるので、それがどのように進展するのかを評価することなんです。」

古澤さんは、日本複合材料学会主催の第四十一回複合材料シンポジウムで「優秀学生賞」を受賞。その他、米国インディアナポリス

の実験力学会での口頭発表など、各種の学会に参加してきた。

「国際学会では、英語に苦労しました。人前でしゃべることが苦手だったんですが、この大学ではグループ活動に重点が置かれているので、鍛えられて。また実験機器などの設備は十分に整っているんで、やりようによっては他校の学生に負けないと思うし、ほく自身は、充実していますね。セイコーエプソンは第一志望でした。やはり世界のブランドということが魅力でしたし、事業所が実家の山梨と近いこともありました。」

桜花の咲くころ、古澤さんは信州の山々と諏訪湖の美しい自然に恵まれた職場での第一歩を踏み出しているのだ。KITのチャレンジスピリットを胸に秘めての新しいエンジニアの道を。

**金沢工業大学**  
石川県野々市市扇が丘七七一  
電話番号(076)248-1100